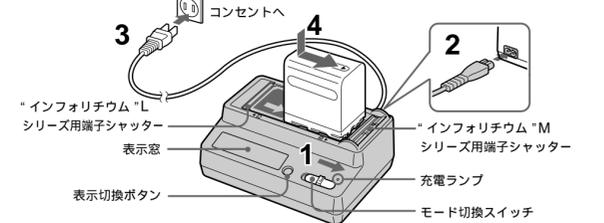




## ▶ACアダプター/チャージャー（AC-VQ800）を使う

## バッテリーを充電する



表示窓の表示					
"InfoLITHIUM(インフォリチウム)"表示					使用可能時間表示
					ビデオ/カメラ表示
充電異常表示	InfoLITHIUM	充電異常	使用可能時間	ビデオ/カメラ	満充電表示
充電残り時間表示	実用満充電	終了まで	00時間	00分	
時間表示部					バッテリーマーク

### 1 モード切換スイッチを「充電」にする。

### 2 電源コードを本体に接続する。

### 3 コンセントにつなぐ。

「ピーッ」という音がして、表示窓が点灯します。

### 4 バッテリーを取り付ける。

（イラストはNP-FM90です。）

充電が始まると、表示窓のバッテリーマークが順番に点滅し、充電ランプが点灯します。充電されるとバッテリーマークがすべて点灯します（実用充電）。さらに充電ランプが消え、バッテリーマークに「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使えます（満充電）。

#### バッテリーの取り付けかた

" InfoLITHIUM "Mシリーズ（NP-FM50 / FM70 / FM90など）（イラストはNP-FM90です。）

- 本機の上にバッテリーを置く。
- 矢印の方向にバッテリーをスライドさせる。

端子シャッターが完全にあがるまで押してください。

- ▶マークを端子シャッター側にあわせる。



ご注意

端子シャッターには衝撃を与えないでください。バッテリーを取り付けるときなどは、ぶつけないよう、特にご注意ください。

主なバッテリーの充電時間

バッテリーパック	NP-FM50	NP-FM70	NP-FM90
満充電時間（実用充電時間）*	約105分（約45分）	約150分（約90分）	約195分（約135分）

- \* 使い切ったバッテリーのAC-VQ800での充電時間。
- 周囲の温度やバッテリーの状態によっては、上記の充電時間と異なる場合があります。

急いで使いたいとき

バッテリーは、充電が完了する前でも必要なきに取はずして使えます。ただし、充電時間によってお使いになれる時間が異なります。

" インフォリチウム "Lシリーズのバッテリーパックを充電するとき
本機では" インフォリチウム "Lシリーズのバッテリーパックを充電することもできます（NP-F330/ F550/F750/F950など）。" インフォリチウム "Lシリーズのバッテリーパックを充電するときは、次の手順で行ってください。

- ① " インフォリチウム "Mシリーズのバッテリー取り付け方向を示したカバーを取り外す。
- ② " インフォリチウム "Lシリーズのバッテリーパックを本機の上に置く。
- ③ " インフォリチウム "Mシリーズとは反対の方向に" インフォリチウム "Lシリーズのバッテリーパックをスライドさせて取り付ける。

ご注意

・" インフォリチウム "MシリーズとLシリーズの端子シャッターは、本機の両端にあります。バッテリーパックを取り付ける際には、バッテリーパックの▲マークの方向を確かめてください。
・充電中にモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」にすると、充電は中断されます。
・充電ランプが点灯しなかったり点滅したときは、バッテリーがしっかり取り付けられていないか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。

充電中に何か異常があると、充電ランプが点滅し、表示窓に「充電異常」と表示されます。次の手順で確認してください。

充電中のバッテリーを取りはずし、もう1度、同じバッテリーを取り付ける。	再び点滅した場合 <p>別のバッテリーを取り付ける。</p>	再び点滅した場合 <p>ACアダプター/チャージャーに異常があると思われます。</p>	異常があると思われる商品について、お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にお問い合わせください。
	点灯後、再び点滅しなかった場合 <p>充電時間が過ぎて充電ランプが消えていれば、異常はありません。</p>	点灯後、再び点滅しなかった場合 <p>充電時間が過ぎて充電ランプが消えていれば、始めに取り付けたバッテリーに異常があると思われます。</p>	

#### 充電の状況を確認する

充電の状況は表示窓で確認することができます。充電を開始してからしばらくすると、表示窓に「使用可能時間」が表示されます。表示される「使用可能時間」は、ビューファインダーを使って撮影した場合のおおよその使用可能時間で、液晶画面を使うと、使用可能時間は短くなります。

充電中に表示切換ボタンを押す。

ボタンを押すたびに表示は次のようになります。

	充電中のバッテリーを、お使いの" インフォリチウム "対応のビデオカメラに取り付けたときの使用可能時間（5分未満は表示されません。）
<p>表示窓の操作</p> <p>○ 押す。</p>	充電中のバッテリーの実用充電が終了するまでの残り時間
<p>表示窓の操作</p> <p>○ 押す。</p>	充電中のバッテリーの満充電が終了するまでの残り時間

ご注意

- 新品のバッテリーで使用可能時間を表示するには、お使いのビデオカメラにバッテリーを取り付け、20秒程度ご使用ください。その後、本機に取り付け、充電を開始すると使用可能時間が表示されます。
- 表示時間は室温が10 ～30 で充電したときを目安です。使用環境によって実際の時間と異なる場合があります。
- 以下のときは表示時間が「 - - - 」になることがありますが、故障ではありません。
  - 使用可能時間が5分以下のとき
    - 表示時間と実際の充電時間にずれが生じたとき（そのまま充電を続けてください。）
- 実用充電終了から満充電終了までは約1時間です。この間にACアダプター/チャージャーからバッテリーを取りはずすと、次回充電するときの表示時間が実際とずれることがあります。
- 表示時間が実際とずれるバッテリーは、1度ACアダプター/チャージャーで満充電してからお使いください。より正しい時間を表示できます。
- 満充電済みのバッテリーを取り付けると「満充電まで1時間」の表示が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 表示切換ボタンを押してから時間を表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- ご使用のビデオカメラ、またはバッテリーによっては、「使用可能時間」が表示されないことがあります。詳しくは、「ACアダプター/チャージャーの使用可能時間表示についてのご注意」をお読みください。

ACアダプター/チャージャーの使用可能時間表示についてのご注意（必ずお読みください）
本機は充電器として使用中、以下の条件を満たせば、充電中のバッテリーをお手持ちのビデオカメラで使用した場合の使用可能時間を表示します。

・" インフォリチウム "バッテリーを使用している
・お手持ちのビデオカメラが" インフォリチウム "対応機種である
お手持ちのバッテリーにが付いているかご確認ください。また、お手持ちのビデオカメラの取扱説明書で" インフォリチウム "対応機種かどうかご確認ください。

以下の機種は" インフォリチウム "対応ですが、本機の使用可能時間表示には対応しておりません。ご注意ください。
DCR-TRV7 / DCR-SC100、CCD-TR12 / CCD-TR555 / CCD-TR3300 / CCD-TRV71 / CCD-TRV91 / CCD-TRV92 / CCD-TRV101 / CCD-TRV201 / CCD-SC55 / CCD-SC65、GV-A100 / GV-A700

複数の" インフォリチウム "対応のビデオカメラをお使いの場合は、最後にバッテリーを取り付けたビデオカメラでの使用時間を表示します。

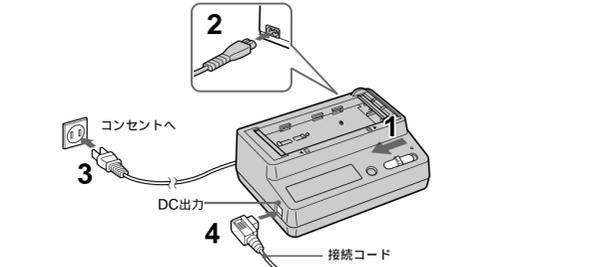
LASER AVLINK（レーザーエイリンク）とは

マークのあるLASER AVLINK対応機器の間で、赤外線による映像と音声の送受信をおこなうシステムです。

## コンセントにつないで使う

万一、不具合が生じた場合に備えて、手近なコンセントをお使いください。

ACアダプター/チャージャー（AC-VQ800）を使って屋内のコンセントから電源をとります。



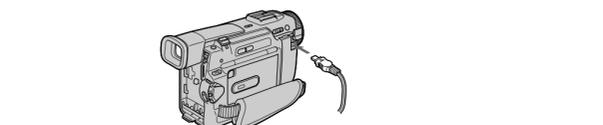
### 1 モード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」にする。

### 2 電源コードを本体にさす。

### 3 コンセントへつなぐ。

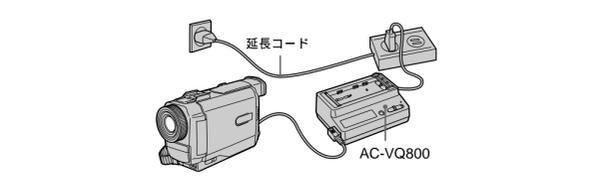
### 4 接続コードをDC出力へつなぐ。

### 5 ビデオカメラのDC入力端子カバーを開け、接続コードの▲マークを上にして、ビデオカメラのDC IN端子につなぐ。



ご注意

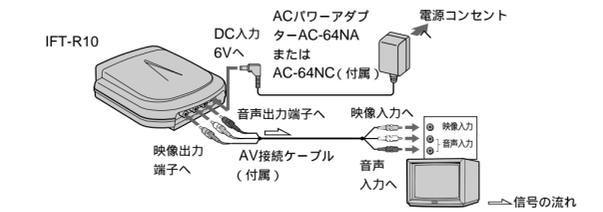
- ビデオカメラの操作中、モード切換スイッチを「充電」にすると、ビデオカメラへの電源の供給は中断されます。
- ビデオカメラの使用中は、ACアダプター/チャージャーにバッテリーを取り付けても充電することはできません。
- 接続コードをつないでいっばい1にのぼした状態で使うときは、プラグが抜けやすいので、市販の延長コードをお使いになることをおすすめします。
- ビデオカメラの映像が乱れるときは、本機をビデオカメラから離してください。



### ▶AVコードレスIRレーザーを使う

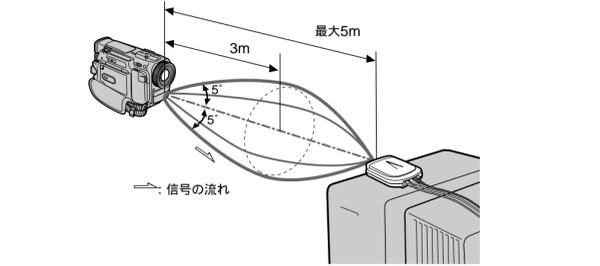
## AVコードレスIRレーザーを設置する

### 1 接続する



### 2 赤外線が届く範囲にビデオカメラを置く

図で示された範囲でお使いください。



ご注意
この製品には、付属のACパワーアダプター（AC-64NAまたはAC-64NC）（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐときはAV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぎます。（赤いプラグはどちらにもつなぎません。）音声はモノラルです。

テレビにビデオをつないでいて、接続する入力端子がないとき
AVコードレスIRレーザーをビデオの外部入力端子へつなぎます。ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

## テレビで見る

ビデオカメラで再生した画像をテレビで見ます。

### 1 AVコードレスIRレーザーの電源を入れる。



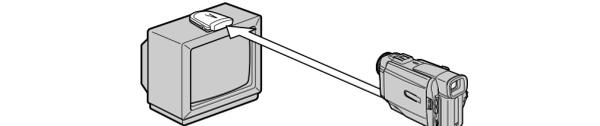
### 2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

### 3 ビデオカメラに再生したいカセットを入れ、ビデオカメラの電源スイッチを「ビデオ」にする。

### 4 ビデオカメラのLASER AVLINKボタンを押す。

### 5 ビデオカメラの再生ボタンを押す。

### 6 ビデオカメラとAVコードレスIRレーザーの向きを合わせる。



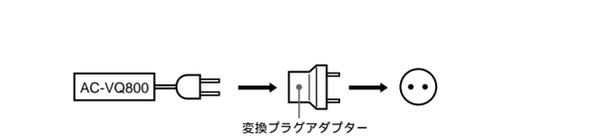
ご注意
・送信側の発光部やAVコードレスIRレーザーの受光部を手や物でおおわないでください。
・壁や不透明なガラスは赤外線を通しません。透明なガラスの場合でも、赤外線の届く範囲は短くなります。
・送信側の発光部の明るさは一定ではない場合がありますが、故障ではありません。赤外線の届く範囲にも影響はありません。
・送信側の機器とAVコードレスIRレーザーを近づけ過ぎないでください。ノイズやビートが発生することがあります。

## 海外へお持ちになる方へ

ACアダプター/チャージャーAC-VQ800は、AC100～240V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまであるので、お出かけ前には旅行代理店などで確かめください。

変換プラグアダプターがなくても使える主な国/地域 <ul style="list-style-type: none"><li>日本</li> <li>アメリカ</li> <li>カナダ</li> <li>ジャマイカ</li> <li>パナマ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ブルトリコ</li> <li>ベネズエラ</li> <li>ホンジュラス</li> <li>メキシコ</li> <li>リベリア など</li></ul>
--	---

そのほかの国/地域については、旅行代理店で確かめください。



## バッテリーの上手な使いかた

充電について
使う前に充電してください。
充電後は使わずに保存しておいても、自然に放電しますので、使う前に充電することをおすすめします。

使用可能時間について
撮影予定時間の2～3倍分のバッテリーを用意すると安心です。次のようなときにもバッテリーは消耗するため、余裕を持って用意しておくとう安心です。
・カセットを入れたり、取り出したりするとき
・スタンバイ状態にしているとき
・ビューファインダーから被写体を見て、構図やアングルを考えているとき
・電源スイッチを「ビデオ」にしているとき

スタンバイスイッチをこまめに「ロック」にすると（スタンバイスイッチがない場合は電源スイッチを「切」にすると）バッテリーは長持ちします。これによって画像が乱れることはありません。きれいなつなぎ撮りができます。

寒冷地では、バッテリーの使用時間が短くなります。温度が低い（10 以下）と、バッテリーの性能が低下するためです。より長い時間お使いになるために、次のことをおすすめします。
・バッテリーをポケットなどに入れて暖かしておき、撮影の直前にビデオカメラに取り付ける。カイトをお使いの場合は、直接バッテリーに触れないように、ご注意ください。
・充電は、室温（10 ～30 ）で、ACアダプター/チャージャーに取り付けで行う。

交換時期について
バッテリー残量がわずかになるとファインダー内や液晶画面にマークが出て、遅い点滅から速い点滅に変わります。このときが上手な交換時期です。電源スイッチを「切」にしてから交換してください。

保管方法について
・バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして、使い切ってから保管してください。
・バッテリーは湿度の低い、涼しい場所で保管してください。

お手入れについて
端子部はいつもきれいにしておいてください。端子部に異物が入ってしまった場合は、先の細い柔らかい棒で完全に取り除いたあと、バッテリーの取り付け、取りはずしを数回繰り返してください。端子部の接触状態がよくなります。

知っていただきたいバッテリーの知識
バッテリーの寿命は？
使用回数を重ねたり使用時間が経過したりするにつれて、バッテリーの容量は少しずつ低下していきます。十分に充電したバッテリーを使っても、マークがすぐに点滅をはじめよう場合は寿命です。新しいものをお買い求めください。

室温（10 ～30 ）で充電しましょう。周囲の温度が低くなるほど、充電に時間がかかります。